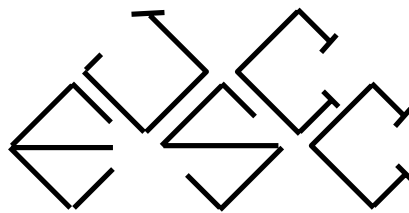


## 日中環境協力支援センター有限公司

～ 日中環境協力、中国環境ビジネス・研究、在中 CSR 活動のコーディネーター～

Japan-China Environment Service Center



設立：2005年4月1日

住所：大阪府松原市岡2-12-4（〒580-0014）

中国連絡先：北京市海淀区中関村南大街甲10号

銀海大廈北区205室（〒100081）

E-mail：info@jcsc.com

URL：http://www.jcsc.com

代表：取締役 大野木昇司

取引銀行：三菱東京UFJ銀行 松原支店

更新 2007年11月8日

## **中国環境・エネルギー・CSR 協力支援サービス一覧**

---

1. 調査研究事業
  - 各種委託調査・研究、中国調査機関紹介
2. 中国環境・エネルギー・CSR 情報収集事業
  - 『週刊中国環境 CSR ニュース』配信
  - オーダーメイド型 中国環境・エネルギー・CSR 情報提供サービス
  - シンポジウム代理参加・情報収集サービス
3. ビジネス支援
  - 関連製品・サービスの販売支援、市場開拓支援
  - 視察・商談ツアーの企画、マッチングセミナー開催
  - 広告代理、展示会出展、中国向け情報発信・宣伝
  - モデル事業立ち上げ支援
  - 北京事務所代行業務(企業、大学、公益法人など)
4. 共同研究支援
  - 共同研究のコーディネート(パートナー探し、連絡・調整、アドバイザー)
  - フォーラム開催
  - ヒアリング先のアレンジ
5. その他
  - 中国環境・エネルギー資料の収集・翻訳・整理
  - 交流会・シンポジウムの開催
  - 専門家、行政機関、研究機関、企業などの仲介・紹介
  - CSR 関連での環境 NGO・大学とのネットワーク化や連携・協力
  - 環境ビジネス顧問・アドバイザー
  - 中国環境報告書(サステナビリティレポート)編集
  - 中国メディアでのニュースリリース
  - 中国環境動向・環境ビジネスのレクチャー・講演・執筆

## **当社の中国環境・エネルギー・CSR 支援業務における強み**

---

1. 1 万名を超える中国環境分野の人脈を活用
  - 当社は、1 万名を超える中国環境分野の人脈を有しています。環境、エネルギー、リサイクル、生態系などの広い分野、環境保護総局・発展改革委・建設部・地方政府などの中央地方官公庁、企業・事業団体・シンクタンク・大学・メディア・NGO などの広いセクターに渡っており、貴団体の各種業務をサポートします
2. 大量の中国環境情報の集積基地
  - 当社は、『週刊中国環境 CSR ニュース』やメールマガジン週刊『中国環境・エネルギー・CSR レポート』を配信しているほか、日本の環境分野の業界紙への寄稿、中国での各種の環境会議への参加、中国環境専門家とのやりとり、中国の環境新聞・雑誌などを通じて、大量の中国環境情報を集積し、長年の経験による分析を加えて、貴団体の各種業務をサポートします。
3. 専門的アドバイザーによる業務支援ビジネス支援
  - 当社は、中国環境ビジネス・研究に通じたアドバイザーを抱えており、環境ビジネス・環境研究・共同事業の実施に関する各種のノウハウを提供しています。

## 2005 年度の主な事業実績

---

### 公益法人他

- JETRO : 日中経済連携研究調査 (大学教授と共同執筆)
- JICA : 中国生態環境研修プロジェクト支援 (継続中)
- 国際協力銀行: 2005 年対中円借款の中国メディア報道調査
- 特定非営利活動法人: 月刊中国環境ニュース翻訳
- 財団法人環境情報普及センター: 中国環境情報配信翻訳
- NEDO : 中国情報編集・翻訳業務
- 京都大学: 現地連絡・調整業務請負

### 民間企業

- A 社: 中国北方一部開発区における工場環境マネジメント  
中国北方一部開発区における工場環境周辺マネジメント
- B 社: 会員向け環境情報誌・中国進出企業の環境対策

### その他

- 日中友好環境保全センター: 日本対中環境協力調査支援
- 中国環境報社: 広告代理

## 2006 年度の主な事業実績

---

### 公益法人他

- JICA : 中国生態環境研修プロジェクト支援 (継続中)
- 国際協力銀行: 2006 年対中円借款の中国メディア報道調査  
中国環境円借款セミナー 会議アドバイザー業務
- 財団法人環境情報普及センター: 中国環境情報配信翻訳
- 社団法人日本環境教育: 中国化学工場見学アレンジ
- 科学技術振興機構: 中国環境専門家・研究機関リスト作成
- NEDO : 中国情報編集・翻訳業務
- 京都大学: 現地連絡・調整業務請負
- 物質材料研究機構: 中国環境レポート執筆

### 民間企業

- A 証券会社: 環境・エネルギー投資のヒアリング企業紹介業務
- B コンサル会社: ある業界の中国環境・CSR 取り組み調査
- C コンサル会社: 環境国際会議レポート作成
- D 化学会社: 水処理ビジネス市場調査
- E 調査会社: 環境測定器市場調査およびプロモーション

### その他

- NPO 法人エコデザイン推進機構: 「中国循環型経済モデルの構築と電子製品市場調査 WS」開催
- 江蘇省蘇州市の国際環境保護製品技術交易センターと包括的協力契約を締結
- 北京駐在員事務所を開設
- 国際善隣協会の北京郊外日中友好植林活動の北京事務局担当

## 履歴・業歴書

大野 木 昇 司 1972年8月生

現職 日中環境協力支援センター有限会社 取締役

ウェブサイト「日中環境戦略研究家」(日本語)と「中日環境合作信息网」(中国語)及びメールマガジン「中国環境・CSR・エネルギーレポート」(日本語)と「中日環境合作信息電子雑誌」(中国語)を管理・運営  
<http://www.realintegrity.net/~onogish/>

## 経歴

---

- 1995年3月 京都大学工学部衛生工学科卒業
- 1998年3月 京都大学大学院エネルギー科学研究科エネルギー社会・環境科学専攻修了(修士課程)
- 2002年6月 中国北京大学環境学院環境科学専攻修了(修士課程)
- 2002年9月 中国天津日中大学院環境管理学科専任講師(2003年1月まで)
- 2003年4月 国土環境株式会社 北京事務所入社(2005年3月まで)  
社団法人海外環境協力センター 兼職で客員研究員(2005年3月まで)
- 2005年4月 日中環境協力支援センター(有)を設立、代表に就任。北京駐在

## 専門領域

---

中国環境ビジネス、中国環境政策、日中環境協力、日中エネルギー協力、中国 CSR 活動

## 主要執筆・インタビュー等

---

- ・2002年6月 北京大学城市與環境学系 環境科学専攻 環境管理方向 修士論文  
『中国報紙關於日中環境合作事業的報道分析』(訳:日中環境協力に関する中国新聞の報道分析)
- ・2003年10月8日 ジェトロ叢書『職在中国』(副題:40人の日本人が語る就職企業チャレンジ)  
第四章「現地採用者・起業者の声」で、私の中国経験の話が6ページにわたって掲載
- ・2004年1月 中国科学院主管の雑誌『中国国家地理』フカヒレ論争に中国語で寄稿
- ・2004年6月から、月刊中国環境保護雑誌『綠色家園』NGO活動情報コーナーの執筆担当
- ・2004年8月 NHK テレビ中国語会話テキスト(8月号)  
「今、中国で働く」コーナーで私のインタビュー掲載
- ・2004年8月 『中国年鑑2004』(中国研究所編)の一部執筆担当  
特集・重大化する中国の環境問題の「グリーンオリンピック」解説コーナー執筆
- ・2004年12月 『中国環境ハンドブック2005-2006年版』(蒼蒼社、中国環境問題研究会編)  
「諸外国政府機関、国際機関の活動」部分執筆
- ・2004年12月 中国CDM業界誌『中国CDM市場追跡レポート』に中国語で寄稿  
「日本・京都議定書温暖化ガス削減戦略と中国CDM事業のチャンス」
- ・2005年2月 中国環境雑誌『綠色中国』2月号に中国語で寄稿  
小論文「稲むらの火に見る日本の津波対策」
- ・2005年4月 『日経エコロジーECO』5月号 第一特集・「中国を汚すな!動く日系企業」取材
- ・2006年6月 アルク『中国語ジャーナル』6月号でインタビュー
- ・2007年9月 日経新聞インタビュー

- 中国の水資源問題記事の取材インタビュー 後日、中国紙『参考消息』で転載
- ・2007年5月 『中国環境ハンドブック 2007-2008年版』(蒼蒼社、中国環境問題研究会編)  
「企業の中国進出と環境配慮」
- ・2007年11月 『月刊地球環境』11月号 寄稿「中国政府 環境対策にアメとムチ使い分け  
日本企業 法令遵守、環境経営からCSRへ」

その他、『環境新聞』、『水道産業新聞』、『中日水務情報』、『週刊エネルギーと環境』、『月刊下水道』、現地日本語情報誌『スーパーシティ北京』に連載または複数寄稿。中国環境動向、中国の環境ビジネスの現状やノウハウ、中国進出企業が取り組むべき環境対応・CSRなどについて執筆。

## これまでの実績

---

### 会議発表

- ・1998年日本原子力学会(於近畿大学)  
『新聞論調からみた原子力界 - 問題点の推移と今後の展望 - 』
- ・2002年7月 環境教育会議(於甲南大学)『日中環境協力の中国紙での報道分析』
- ・2002年12月 北京環境ボランティアネットワーク主催  
(中国社会科学院環境・発展研究センター後援)  
パネルディスカッション『ボランティアと環境保護』  
パネラー発表『北京環境ボランティアネットワークの活動紹介と存在意義』
- ・2004年4月 日中民間水フォーラム(北京国際会議センター)  
「水と経済」分科会『中国環境ビジネス成功のための試案』
- ・2004年12月 天津 環境・循環経済国際シンポジウム(於天津南開大学)  
会議発表「日本のエコタウンの概要と問題点」(中国語)
- ・2005年5月 中国環境科学学会2005年年会 環境会計分科会  
会議発表「日本の環境会計普及の原因と中国での普及策」(中国語)
- ・2005年9月 「新郷土運動」フォーラム  
会議発表「日本の環境問題と日中環境協力について」(中国語)
- ・2005年9月 環境保護市民参加国際シンポジウム(国家環境保護総局宣伝教育センター等主催)  
会議発表「日本の環境会計」(中国語)
- ・2005年11月22日 環境立法・持続的発展国際フォーラム(全人代環境資源保護委員会主催)  
会議発表「日本の環境会計普及の原因分析」(中国語)
- ・2005年11月24日 「中国グリーン国民経済体系研究」国際シンポジウム  
(環境保護総局、世界銀行、イタリア信託銀行主催)  
会議発表「日本のグリーン国民経済体系研究状況」(中国語)
- ・2005年12月1日 「循環経済と人・自然調和社会建設 学術フォーラム」  
(南開大学環境学院主催)  
会議発表「日本の環境会計普及の原因分析」(中国語)
- ・2006年10月 イノベーション・環境教育・循環経済国際フォーラム(北京)  
(主催:北京市科技協会、北京工業大学、北京外国語大学等)  
会議発表「日本のエコタウン事業実施状況」(中国語)
- ・2006年11月 ポアオ・アジアフォーラム 循環経済国際会議(深圳)  
(主催:ポアオ・アジアフォーラム事務局、深圳市政府)  
会議発表「日本のクリーンエネルギー・省エネ政策と日中協力の可能性」(中国語)
- ・2007年1月 新エネ国際フォーラム(北京 釣魚台国賓館)

- (主催：中華全国工商業連合会新エネルギー商会)  
会議発表「日本のクリーンエネルギー・省エネ政策と日中協力の可能性」(中国語)
- ・2007年2月 中国国際ビジネス協力フォーラム  
(主催：中国国際交流促進会、中国元外交官協会)  
会議発表「日本のクリーンエネルギー・省エネ政策と日中協力の可能性」(中国語)
- ・2007年3月 平成18年度北東アジア・アカデミックフォーラム全体交流会議(京都)  
会議発表「中国の自然エネルギー・環境問題の現状と今後」
- ・2007年8月 日中電子機器リサイクル制度構築フォーラム(北京)  
会議事務局団体として挨拶(中国語)
- ・2007年8月 一橋大学日中経済フォーラム(北京)  
パネリスト出席

## 講演会

- ・2004年10月14日 清華大学環境講演会(清華大学法学院環境資源法研究センター主催)  
『日中環境協力：歴史、形態と今後の発展』(中国語)
- ・2006年5月 亜細亜大学研究会(東京 亜細亜大学)  
講演発表「中国の環境問題・自然エネルギーの現状と今後」
- ・2006年5月 2006NEW 環境展記念セミナー「中国環境ビジネス市場の最先端」  
(東京 東京ビッグサイト)  
講演発表「中国の自然エネルギー・環境問題の現状と今後」
- ・2006年8月 中国日本商会・環境セミナー(北京)  
講演発表「中国の環境法規制動向について」
- ・2006年8月 早稲田大学中国ツアー(北京)  
講義「中国の環境問題概要」
- ・2006年9月 香港・中国環境パートナーシップセミナー(名古屋、大阪)  
(主催：香港貿易発展局)  
講演発表「中国の自然エネルギー・環境問題の現状と今後」
- ・2007年2月 中国日本商会工業第三分科会(北京)  
講演発表「水を中心とする中国環境問題」(日本語)
- ・2007年10月 京大・清華日中環境フォーラム2007(北京)  
日本企業向けオリエンテーション「中国環境ビジネスのノウハウ、注意点」

## 受賞

---

- ・2007年5月 第2回中華現代環境著名人333名に選ばれる  
(主催：アジア太平洋環境保護協会、香港中国都市競争力研究会、香港中国都市研究院等)